

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	海域の国立・国定公園保全管理強化事業費	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部署	自然環境局	担当課室	国立公園課	課長 上杉 哲郎		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	海洋基本計画第2部2(1)、第2部9(1)才 生物多様性国家戦略2010第2部第1章第2節2.1、第2部第1章第9節1.2			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立・国定公園の海域においては以下の課題が存在することから、地域の関係者の参画による合意形成や、民間の活力を活用したモニタリングや対策を実施し、海域の国立・国定公園の生物多様性の保全管理を強化する。 ①オニヒトデの大発生によるサンゴの死滅や磯焼けによる藻場の消失などによる生態系の被害 ②過剰な観光利用による観察対象生物への悪影響や、漁業とのあつれき					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	生物多様性保全の観点から重要な海域における適正な管理を推進するために、漁協やダイビング業者をはじめとする多くの関係者の参画を得ながら、以下の事業を行う。 ①生物多様性が豊かな海域における自然環境のモニタリング調査、生態系の管理(大発生したオニヒトデの駆除等) ②海域の適正利用の推進に係る調査、調整によるあつれきの解消 (平成22年度以降は、事業内容を見直し、上記に加えて、自然公園法の改正によって制定された新たな制度である「海域公園地区」の新規指定のため、平成26年度までの5箇年計画で全国の新規指定候補地の海域調査を実施する。)					
実施状況	平成21年度は、自然環境の状況のモニタリング調査や海域の適正利用の推進に係る調査について、知床や瀬戸内海、山陰海岸等の国立公園において実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	10	6	95	120
	執行額	-	10	6		
	執行率	-	95	100		
	総事業費(執行ベース)	-	10	6		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	環境省において、発注時よりその内容を把握しながら実施するとともに、対象国立公園を担当する地方環境事務所及び自然保護官が、当該事業の執行に際しては、期間全体にわたって指導・監督に努めており、使途の把握水準は確保されている。 特に、現地調査に関する連絡調整、会議開催内容等について事前指導を行った上で会議に出席するとともに、調査実施前には時期、内容、体制等の調査計画や使用する備品等についても確認し、必要な助言・指導を行っている。				
	見直しの余地	平成22年度は事業を見直し、海域の適正管理事業に加えて、自然公園法の改正によって制定された新たな制度である「海域公園地区」の指定のための調査を行うものとしている。今後平成24年度までに海域公園地区面積を、従来の海中公園面積の2倍とする目標を立てているため、平成26年度までの5箇年計画で全国の新規指定候補地の調査を実施し、現地調査、文献調査等により海域公園地区の新規指定候補地を抽出するとともに、当該地域の自然環境及び利用に関するデータ収集、指定地域の管理方法の検討、地域との合意形成のための連絡会議を行うことにより、効率的に海域公園地区の新規指定を推進する。 平成23年度より、海域の適正管理事業の実施に当たっては地域の多様な関係者との協議会の場を設けるなどの事業内容の改善を行う。				
予算チームの効率・所見率	現状維持 (引き続き、効率的・効果的な予算執行となるように検討するとともに、事業の結果の評価や、関係者との連携の強化について検討すること。)					
補記						

環境省

6百万円

【少額随契・請負】

黒潮生物研究財団  
1百万円

いであ株式会社  
広島支店  
1百万円

瀬戸内海国立公園及び足摺宇和海国立公園にて生物多様性が豊かな海域における自然環境の状況の調査

生物多様性保全の観点から重要な海域における適正な管理を推進するために、漁協やダイビング業者をはじめとする多くの関係者の参画を得ながら、①生物多様性が豊かな海域における自然環境の状況のモニタリング調査、②海域の適正利用の推進に係る調査、③海域の適正管理を行う。

釧路自然環境事務所  
2.2百万円

北海道地方環境事務所  
0.9百万円

近畿地方環境事務所  
0.9百万円

【一般競争・請負】

【少額随契・請負】

【少額随契・請負】

A. (株)ライヴ環境計画  
1.9百万円

(株)ライヴ環境計画  
0.9百万円

いであ(株)  
0.9百万円

ウトロ海域におけるケイマフリ等海鳥の保護と持続可能な海域利用に向けた検討業務

利尻礼文サロベツ国立公園礼文島西海岸における海域の風致景観の保護と適正な利用を図るための景観資源調査

山陰海岸国立公園における公園計画の点検や変更業務及び保全活動の基礎資料の作成

その他  
0.3百万円

ウトロ海域におけるケイマフリ等海鳥の保護に係る普及啓発

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載す  
 る。使途と費目の双方で実情  
 が分かるように記載)

A. (株)ライブ環境計画			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	知床国立公園ウトロ海域における 適正利用検討業務	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0